

■目的

木質バイオマス燃料の品質規格の国家規格導入に向け、国家規格策定に係る課題・情報の整理と品質規格の普及へ向けた土壌形成

■目標

・国家規格化に向けた手続きや国家規格の運用方法等の整理

・品質規格の普及に向けた技術的知識の整理とそれを元にした手引書作成

■背景

木質バイオマスの利用には、燃料とボイラー等のマッチが重要であり、

燃料供給者と使用者の間の共通の物差しとして、品質規格が有益である。

しかし品質規格を策定しても、品質規格が広まらなければ意味がない。

品質規格の普及方法として、**プッシュ型アプローチ（押しつけ）**ではなく、**プル型アプローチ（ニーズ・必要性）**を高める必要が有る。

■2024年度の調査項目

①国家規格の策定に向けた具体的な手続や、国家規格策定後の運営方法に係る検討

②木質チップ・ペレットの品質規格の普及に向けた製造等手引の策定に係る検討（2024年度はチップ）

■2024年度の主な成果

①木質バイオマスの燃料に関する規格は、JIS/JASいずれもありうるが、2023年に制定された民生用ペレット規格がJAS規格であることを念頭に、JIS/JAS規格の策定方法やその運用方法等について整理した。

②-1 手引書記載のための国内優良事例のアンケート調査

対象：チップ製造事業者（回答数：21者）

バイオマス発電事業者（回答数：49者）

調査結果は図1、図2参照のこと

②-2 手引書記載のための国内優良事例のヒアリング調査

対象：チップ関連事業者（40者）

ヒアリング調査を元に国内優良事例（グッドプラクティス）を【**水分の違いをチップ価格への反映**】【**乾燥方法**】【**品質管理**】【**チップサイズ**】に分けて整理した。

②-3 ペレットの安全な取り扱いに関する調査

ペレットの粉塵爆発リスクについて調査。粉塵爆発は粉塵爆発は、「燃料（粉塵）」「分散」「酸素」「着火源」「閉空間」の5要素が揃ったときに発生するが、全てをなくすことは不可能。

「**粉塵**」「**着火源**」を抑制することが**リスク低減には不可欠**。

②-4 2024年度成果を元にした、

【木質バイオマス燃料の品質向上に向けた手引書 事業者のグッドプラクティス（木質チップ編）】の作成

■実用化・事業化の見通し

品質規格の策定・普及には事業者間、業界全体での品質規格のニーズを高める必要がある。

本事業での成果を普及し、有効活用することで、木質バイオマス燃料の品質規格の国家規格導入が見込める。

■課題と今後の取組

【課題】

アンケート調査の回答率が高くなく、本年度実施するアンケート調査では回答率を高める工夫が必要。

【今後の取組み】

品質規格に対する、事業者の受容性に関するヒアリング・アンケート調査

ペレットを中心に品質に関するヒアリング・アンケート調査

ペレット・チップの国内優良事例・ペレットの安全な取り扱いをカバーする手引書の作成

普及活動として、バイオマス展でのセミナー開催

